



第107号 2025年7月1日発行

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24 徳島大学 日亜会館3階
TEL (088)602-0151 FAX (088)602-0152 E-mail toku-sc@ouj.ac.jp
**巻頭
言**

生きるを、ともに、つくる。

客員教授 今井 芳枝

表題は2025年に向けた日本看護協会のタグライン・ステートメント(右記Webページ参照)であり、これからの地域医療の中心になっていく力強さとしなやかさを表現しています。この“生きるを、ともに、つくる。”が作られた背景として、これまでの看護は、病院看護を中心に、ひとりひとりの患者と向き合い生きる力を引き出す技術を磨いてきましたが、少子・超高齢化、医療費削減、在宅医療の増加により看護の力は病院だけではなく、あらゆる場所で必要とされてきています。対象となる方々の最期までを、看続けるためにも、“暮らし”というフィールドに立ち、これまでなかった看護のかたちを実現させていく必要性があります。そのための地域全体を見渡せる、看護システムはどういうものがいいのか、安心して、在宅医療を選択できるようにするにはどうすればいいのか、看護職ひとりひとりが考え、行動する必要性があります。未来に向け、求めあう手と手がしっかり届き結ばれるような環境を新しく作り上げていくという看護の挑戦「看護の将来ビジョン」を全ての看護職、生活者、そして社会全体に広く伝えていくため、2025年に向けた活動を行っていくという流れで作られたタグラインです。

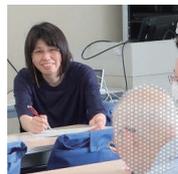
これらのことから、今までの学びや看護を踏襲する

のではなく、時代の情勢を捉えて柔軟にかつ、クリエイティブに思考して対応していくことが重要であると考えます。VUCAの時代(2016年タボス会議)として、下表の状態が示されました。(※これら4文字の頭をとってVUCA時代) VUCAは、世界の社会経済状態を表しており、これまで想像しなかった問題や出来事があふれているような時代には、本質的な価値を共有して基本となる軸がぶれないように行動することが重要であり、誰のために存在するのか、何ができるのかを自ら問いかけながら道を切り開いていく必要があることを示唆しています。

まさに、自身で思考し行動していく力が必要とされていると思います。放送大学はその基盤を担っていると思います。是非、放送大学を通して多様な価値を共有しあいながら思考力を高めて頂きたいと切に願います。

参照:日本看護協会Webページ

<https://www.nurse.or.jp/home/about/tagline/index.html>(2025年4月28日検索)



「がん看護学」ゼミの様子



VUCAの時代

Volatility(変動性);テクノロジーがかつてないスピードで進化していて、急速な変化が社会に生じており、医療の中でもICTの利活用が急速に進み、便利な一方で情報共有におけるリスクのバランスのとり方が十分わかっているとはいえない状況。

Uncertainty(不確実性);数か月、数年後にどうなっているのか分からない状況がある。人口減少や経済的理由により組織の統廃合が進み、盤石だった組織が今後もそのまま続くという保証はない。

Complexity(複雑性);問題に対処しようとしても、様々な要因が絡んで、すぐに解決できない、あるいはこれまでの方法ではうまく解決できない状況にある。

Ambiguity(曖昧性);物事の因果関係がはっきりせず、前例がない状況の中で、先に進んでいくことが求められる。多様な価値観の中で柔軟に、創造的に取り組む必要性が生じている。

開所時間の
お知らせ

2025年4月より 開所時間は次のようになっています。

ご協力の程よろしくお願いたします。

事務室 火～日 9:30～18:00

視聴学習・図書室 火～日 9:30～17:30

ゼミ「地方都市の社会基盤デザイン」の紹介

客員教授 奥嶋 政嗣(おくしま まさし)

前年度よりゼミでは、「地方都市の社会基盤デザイン」と題して話題提供をしております。ここでは、社会基盤デザインの考え方とともに、社会基盤整備計画、リスクマネジメント、まちづくり、モビリティ社会について学び、これからの地方都市における方向性を考えています。

令和6年度において、最初の数回のゼミでは、社会基盤整備計画の基本的な考え方について話題を提供しました。例えば、7月のゼミでは、長期的な観点からみると、具体的な計画が策定されたとしても、社会的な改善を目指した議論の過程は継続される必要があることについてお話ししました。この過程においては、「記憶」と「より良い社会への志向性」が不可欠であることも説明しています。また、計画には階層性があり、上位計画の目的を達成するためには、多様な下位計画が必要となることなどを解説しました。

社会基盤施設は、大規模であり、対象とする地域も複数に及ぶことが多くみられます。それぞれの地域から見ると、社会基盤施設の整備効果および運用の効果は大きく異なることもあります。このため、社会基盤デザインでは、それぞれの地域の立場からも対策を考えていくことが必要です。そこで、最近のゼミでは「ゲーム理論(地域間の競争と協調)」と題して、話題を提供します。ゲーム理論は、相手の行動を考えて自らの行動を決定する場合の意思決定理論です。この理論に基づいて、利害が完全には一致しない様々な地域間の競争と協調について考えます。特に、どのような協力関係を結べばよいのかについて、その妥結点を理論的に説明します。今後のゼミにおいては、さらに地域間の施設立地の

公平性に関する研究内容についても話題を提供していきたいと考えています。

一方、社会基盤施設の運用には協力行動の促進が不可欠です。これには、社会的ジレンマを解消する必要がある場合があります。3月のゼミでは「社会的ジレンマと社会的決定」について話題提供しました。社会的ジレンマの解消のための心理的方略の1つとして、事実情報提供法が挙げられます。事実情報提供法について、実際の協力率の情報を提供するだけで協力傾向が増進されることを説明しました。この後になって、事実情報提供法に関する研究の成果を挙げていたことを思い出しました。これは、疾患リスク、身体活動量および地球環境問題についての事実情報を組み合わせた提示により、自動車通勤からの転換意向形成の効果があることを示したものでした。今後のゼミにおいては、このような協力行動の促進に関する研究内容についても話題提供していくことを検討します。

本年度は、面接授業として「持続可能な交通計画」の講義も担当します。この講義では、交通計画の考え方とともに、これからのモビリティ社会について学びます。具体的には、交通と地球環境、交通行動調査、公共交通、道路交通、道路計画、交通政策の効果計測、TDMとモビリティマネジメント、ITSと自動運転などの多様な観点から交通計画の要点を学んでいきます。受講いただければ幸いです。



ゼミ「地方都市の社会基盤デザイン」の様子

学生研修旅行について



コロナ禍で中止していました学生研修旅行を今年度再開に向けて準備をしています。学生研修旅行は地域の歴史や文化に触れ、学生相互及び教職員との交流等を図ることを目的にした行事で、現在、下記のように計画中です。詳細が決まり次第、徳島学習センターWebページやキャンパスメールにてお知らせいたします。参加ご希望の方はお知らせの手続きに従ってお申し込みください。

- 【予定日時】 2025年10月5日(日)
8:00集合／8:30 徳島学習センター 出発
17:30頃 徳島学習センター 到着予定
- 【予定行先】 香川県「旧金毘羅大芝居“金丸座”と四国水族館」
- 【予定参加費】 5,000円程度(入場料、食事代等)

*そのほか、詳細は徳島学習センターWebページのお知らせを確認してください。

2025年度第1学期単位認定試験について

2025年度第1学期単位認定試験は**Web受験方式**(※一部科目については郵送受験方式)にて実施いたします。実施方法や試験日程は、以下のとおりです。ご注意ください。

※「正多面体と素数(‘21)」「日本美術史の近代とその外部(‘18)」「量子化学(‘19)」「行政学講説(‘24)」



実施方法

自宅での受験は期間中24時間いつでも受験できます。

●Web受験方式●

・自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。

・1科目50分の制限があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)

○「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。(郵送受験科目除く)

科目ごとに「択一式」「記述式」「併用式(択一式と記述式)」のいずれかの形式で出題されます。各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載しています。

●郵送受験方式●

※「行政学講説(‘24)」「正多面体と素数(‘21)」「日本美術史の近代とその外部(‘18)」「量子化学(‘19)」のみ

・7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。

・試験時間の制限は行いません。・出題形式は『記述式』または『併用式』です。

第1学期実施スケジュール

通信指導結果返送	6月末～7月上旬予定
単位認定試験通知(受験票)公開	6月下旬WAKABA公開、公開後順次郵送
単位認定 試験期間	Web受験科目 記述式・併用式: 7月16日(水)9:00～7月20日(日)17:00 択一式: 7月16日(水)9:00～7月24日(木)17:00
	郵送受験科目 7月16日(水)～7月20日(日)《必着》
成績	8月15日(金)ごろ システムWAKABA通知予定 8月19日(火) 成績通知書発送予定

Web単位認定試験体験版について

受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

・システムWAKABAにログインし、「学内リンク」から「Web単位認定試験」をクリックし、練習したい出題形式のものを選択し受験を開始してください。体験版は何度でも解答提出ができます。

自宅での受験が困難な方へ

申請により学習センター等で受験できます。あらかじめ決められた日時に学習センターの端末を使用して受験します。

対象は、ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情がある方です。決められた期間に「受験場所変更手続き」を行った方が受験できます。詳細は「学生生活の葉」p.73-74でご確認ください。

次の学期も学習センターでの受験を希望される方は、科目登録の際に必ず「センター受験」を選択しておいてください。

成績通知

試験結果は、8月下旬送付の「成績通知書」にてお知らせします。(「成績通知書」には通信指導不合格および未提出の科目は記載されません。)なお、この通知書は証明書ではありませんので、証明書が必要な場合は、所定の手続きを行い、「成績・単位修得証明書」の交付を受けてください。

2025年度第2学期の科目登録について

2025年9月末で学籍が切れる方

継続入学



継続入学の願書は送付されません。

郵送出願…本部に出願資料請求するか、学習センターにて出願書類を受け取り、必要事項を記入し本部へ送付してください。

Web出願…システムWAKABA→継続入学申請から手続きしてください。

出願期間

第1回募集：2025年6月10日(火)
～2025年8月29日(金)
第2回募集：2025年8月30日(土)
～2025年9月11日(木)

■面接授業・ライブWeb授業を併せて出願する場合は、右の科目登録期間にシステムWAKABAで継続入学と同時に科目登録を行ってください。ただし、面接授業・ライブWeb授業のみの登録はできません。放送授業またはオンライン授業を1科目以上登録してください。

また、面接授業登録期間前に継続入学出願した場合は、学期開始後の追加登録期間に申し込むようになりますのでご了承ください。

2025年10月以降も学籍の続く方

科目登録

7月中旬に本部より「科目登録申請要項」が送付されます。よく読んで次学期に履修する科目履修登録をしてください。

提出期間

郵送申請：2025年8月15日(金)
～2025年8月28日(木)《必着》
Web申請：2025年8月15日(金) 9:00
～2025年8月29日(金)24:00

■2025年度第1学期に登録した科目の単位を修得できなかった場合(通信指導未提出・単位認定試験不合格)、学籍が継続していれば次学期に限り自動的に再登録(無料)されます。

■「科目登録申請要項」が登録開始の8日前に未着の方は、大学本部(043-276-5111【総合受付】)へご連絡ください。

「継続入学出願票」と「科目登録申請票」は提出期間が違います。ご注意ください。

2025年2学期以降も在籍期間があり、試験の結果9月末で卒業見込みの方

成績判定後 スムーズに手続きできるように、次の2点について確認しておいてください。

①卒業とならない場合に備えての科目登録

卒業とならない場合に備えて2025年第2学期の科目登録の準備をしておいてください。再試験のみ受験の方は、科目登録は必要ありません。同じコースに再入学後卒業要件を満たした学期で卒業となります。

②卒業となった場合の再入学のための出願

再入学を希望される場合は大学本部より「再入学案内文書」が送付されますので、お読みの上、期間内に入学の手続きを行ってください。その際には自動的に3年次編入となります。

①と②の両方を提出した方は、該当する方だけが有効となります。

2025年度第2学期 面接授業 徳島学習センター開講予定科目

●印の科目は追加登録できません

専入	人間と文化	ベトナム人の国民性と行動原理●	10/18・19	Tran HoangNam	導入	心理と教育	初学者のための臨床心理学	11/15・12/6	渡邊 悟
専門	人間と文化	16・17世紀の日本と欧州●	10/18・19	杉森 哲也	専門	生活と福祉	学校給食の管理と運用	11/15・16	辻 博子
専門	社会と産業	光通信方式●	10/19・11/9	藤方 潤一	専門	社会と産業	企業成長論	11/29・30	齋藤 敦
導入	人間と文化	英米文学を楽しむ●	10/25・26	阿部 曜子	専門	社会と産業	コンクリートのレシピの作り方	11/29・30	橋本 親典
専門	生活と福祉	食と健康	11/1・2	朝倉 富子	基盤	外国語	科学英語と口頭発表の基礎	12/6・7	Koinkar Pankaj Madhukar
専門	自然と環境	「鳴門・阿波の土柱」の地質探訪●	11/1・2	石田 啓祐★	専門	自然と環境	植物生態学	12/13・14	田川 一希
専門	心理と教育	心理学実験1	11/8・9	甲田 宗良	専門	心理と教育	心理学実験2	12/20・21	高原 光恵
★11/2	現地周遊	「鳴門公園」観潮場・「阿波の土柱」展望台			導入	人間と文化	『第九』の世界初演と日本初演	1/10・11	石川 榮作

所長・客員教員の紹介&学習相談・ゼミのお知らせ

単位認定試験、夏季休暇などで変更がありますのでWebページで確認してください。

教員名	研究分野	相談日時	ゼミ
橋爪 正樹 徳島学習センター所長 徳島大学名誉教授	電子回路工学	随 時	「 新社会におけるエレクトロニクス 」 第1金曜日 14:00～15:30 創られようとしているソサイエティ5.0という社会におけるエレクトロニクスについて学びます。(PCを使用します)
奥嶋 政嗣 徳島大学大学院教授	土木計画学 交通工学	第2・3 木 曜 日 10:00～ 12:30	「 地方都市の社会基盤デザイン 」 第2木曜日 10:30～12:00 社会基盤デザインの考え方とともに、社会基盤整備、リスクマネジメント、まちづくり、モビリティ社会について学び、これからの地方都市における方向性を考えます。
今井 芳枝 徳島大学大学院教授	がん看護学	水 曜 日 12:00～ 15:00	「 がん看護学 」 7月30日(水)/9月より第2水曜 13:00～14:30 (8月休み) がんの病態、性質や治療、意思決定などを紹介するとともに、がん看護学について学びます。
佐藤 健二 徳島大学大学院教授	臨床心理学	第1・3 水 曜 日 10:00～ 12:30 *4～9月	「 心の健康の回復と増進 」 第3水曜日 10:30～12:00 心の健康の回復と増進に関して、社会心理学との接点の領域(不安、抑うつ、ストレス、トラウマなど)について、主に認知行動療法の観点から学びます。
豊田 哲也 徳島大学大学院教授	人文地理学 地域経済学	第2・4 木 曜 日 9:30～ 12:00	「 地域課題の分析アプローチ 」 第4木曜日 10:00～11:30 地域をめぐるさまざまな問題について、客観的・論理的に考察する方法を学びます。徳島県が持つ魅力や課題についても考えます。
山内 暁彦 徳島大学大学院 准教授	英米文学	水 曜 日 9:30～ 11:30	「 古今東西の風刺文学 」 第2水曜日 9:45～11:15 古今東西の文学作品における風刺やユーモアについて学びます
川西 智也 鳴門教育大学大学院 准教授	臨床心理学	第2・4 金 曜 日 10:00～ 13:00	「 コミュニティのなかでの心理支援 」 第4金曜日 10:30～12:00 学校、児童養護施設、高齢者施設、自助グループなど、様々なコミュニティのなかでの心理支援について学びます。

学 ・学習上の相談(効果的な学習方法・レポートのまとめ方など)について、所長および客員教員が直接相談に応じます。(30分程度)

習 ・学習相談の日程は教員の都合により変更となる場合があります。相談希望の方は窓口、メール、電話などで事務室までお問い合わせください。

相 なお、上記の相談可能日時の中で、ゼミ開催時間以外で予約してください。

ゼ 受講は無料です。

ミ ・事務室受付カウンターにある受講申込用紙または、電話・メールにてお申し込みください。

受 ・急な日程変更や中止になることがありますので、センターWebページ・センタースケジュールをご確認ください。

講

事務局だより

単位認定試験問題・解答等の公表について

2024(令6)年度第1学期・第2学期の単位認定試験問題(全科目)と解答(一部)または解答のポイント等は、下記の期限まで公表します。システムWAKABA「学内リンク」に掲載し、学習センター視聴学習・図書室でも閲覧できます。また、本部学生課では郵送サービスも実施します。詳しくは「学生生活の葉」(教養学部 p.80、大学院 p.85)をご覧ください。



■閲覧するときは・・・

学生証を図書室の受付カウンターに提出後、閲覧したいファイルを提示してください。

※試験問題(紙媒体)は室内での閲覧のみとし、コピーはできません。ただし、試験問題のデータを持参したUSBメモリ等に複製すること、印刷問題をデジタルカメラ等で撮影することは可能です。

単位認定試験問題(全科目)・解答または解答のポイント等

2024年度第1学期分 公表期限:2025年8月14日迄

2024年度第2学期分 公表期限:2026年2月12日迄

2025年度第1学期 問題 公表期間:2025年8月1日(金)~1年間

解答 公表期間:2025年8月15日(金)~1年間

閉所日週2日制の導入について(予告)

放送大学本部では、学習センターの学びの拠点としての効果的・効率的な運用等の在り方について検討を行ってまいりましたが、このたび「原則として、すべての学習センターで閉所日2日制を実施する」との全体方針を定め、各学習センターの実情を踏まえ、令和7年4月以降、準備の整った学習センターから順次、実施することいたしました。

徳島学習センターは令和8年4月から月曜日と火曜日を閉所日とする予定です。詳細は次号の「よしの川」、徳島学習センターの Web サイトや窓口にてご案内いたします。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年度 大学院

修士全科生・博士後期課程 入学生募集について

学位「修士・博士(学術)」の取得をめざす学生(修士全科生・博士後期課程)を募集しています。(2026年4月入学)

どちらも出願の際に「研究計画」を提出し、2回の選考試験により入学者が決まります。

対面でのガイダンスは行いません。希望の方はWebページの入学案内のコーナーにて資料を必ず確認の上、申請してください。

※過去3年分の入学試験(筆記試験)問題については、各学習センターおよび放送大学ホームページにて公開中。

★願書受付期間 ※博士後期課程は郵送のみ

令和7年8月15日(金)~8月25日(月)

郵送は消印有効、Webは17時締切

卒業研究に チャレンジしませんか?

2026年度に卒業研究の履修を検討されている全科履修生の皆さんに「卒業研究履修の手引」を窓口にて配布しています。



研究テーマの選定や指導教官の依頼などが必要になりますので、予定している方は事前にお申し出ください。

★卒業研究申請期間

令和7年8月7日(木)

~8月14日(木) <<本部必着>>

徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」について

本学の授業は「まなびーあ徳島」との連携講座となっております。単位を修得された学生で該当する方は、「学びの手帳」ならびに「まなびーあすだちくん」の単位認定シールをお渡ししています。

放送授業は1科目(2単位)15枚、面接授業とオンライン授業は1科目(1単位)8枚です。必要な方は学生証と成績通知表を持参して事務室窓口までお越しください。



Wi-Fi(WiFi-houdai)のオンラインでの利用申請について

学習センター内で個人のパソコン・スマートフォン・タブレットのWi-Fi接続ができます。

システムWAKABAよりオンライン申請できます。Wi-Fi houdaiは全国の学習センター及びBYOD方式の面接授業で利用できます。



【申請方法】

WAKABA>各種届出・申請様式>「無線LAN利用申請（オンライン）について」

* ページ内の「参考URL」を開いてオンラインで申請

【手順】

1) 情報セキュリティ研修を受講し、合格する。(所要時間は最低50分)

(システムWAKABA→自己学習サイト→情報セキュリティ研修)

2) 小テスト合格後にオンライン申請

- ・氏名入力
- ・無線LAN利用条件に同意
- ・申請する
- ・即時発行

*なお、認証用IDを失念した方は、申請画面で再度確認できます。

◆センターのWi-Fi接続に係るパスワードは変更できませんのでご注意ください。

◆県外の学習センターでも、同じIDおよびパスワードを使用してインターネット接続が可能です。(一部の学習センターを除く。)

Windows 10 のPCをお使いの方へ

Microsoft社がすでに発表していますが、Windows 10のサポートが2025年10月14日に終了します。現在 Windows10をお使いの方は、サポートが切れるまでに、Windows11への移行・買替、またはChromebookなど他のOSのPCへの切替など、安全に使用できる準備をして学習にのぞんでください。

サポートが切れたPCはセキュリティの更新プログラムが受け取れず、サポートが受けられなくなります。サポートの切れたPCでの受験やBYODでの持ち込みは大学全体に影響を与えることもありますので、必ずご対応ください。

図書室だより

★開所・閉所時間のお知らせ★

火曜～日曜 9:30～17:30

※閉室日 月曜・祝日

単位認定試験期間(7/16～24)

夏季休業期間(8/12～15)

視聴学習・図書室ご利用の際の注意

学習センター図書室内のDVD・CDは、室内でのみ閲覧・視聴することができます。貸出はできません。学習される際は室内にある専用端末からインターネット配信で視聴してください。放送授業のDVD・CDの貸出は本部で一括して行っております。

2025年1学期より、徳島学習センター図書室にある禁帯出以外の一般図書の出借を再開しております。

*室内では録音・撮影・資料複製は固くお断りいたします。

*携帯電話・スマートフォン・電子辞書などの電子機器は音の出ない設定に切り替えてください。通話はラウンジにてお願いします。

◎入室の際にカウンターへ学生証をお預けください。

◎貴重品以外、学習に必要なない手荷物はコインロッカー(100円・使用後返金)へお預けください。

- ・図書資料の複写をご希望の場合は「文献複写申込書」にご記入のうえ、複写したい図書資料とともにカウンターへご提出ください。(複写にあたっては一部制限があります。)
- ・客員教員推薦図書や雑誌などを配架しています。

◆資料整理や機材の調整などで臨時閉室することもあります。その際は学習センターHPにてお知らせいたします。

◆毎月20日前後に、翌月の「図書室だより」を発行しております。ご利用ください。

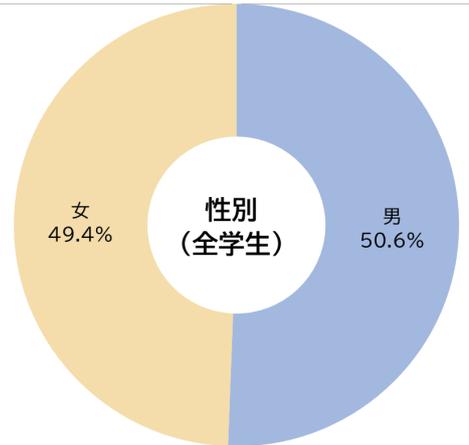
尚、2025年度より、図書室からのお知らせは徳島学習センターのHPよりご確認ください。

在学生の概要(2025年1学期)

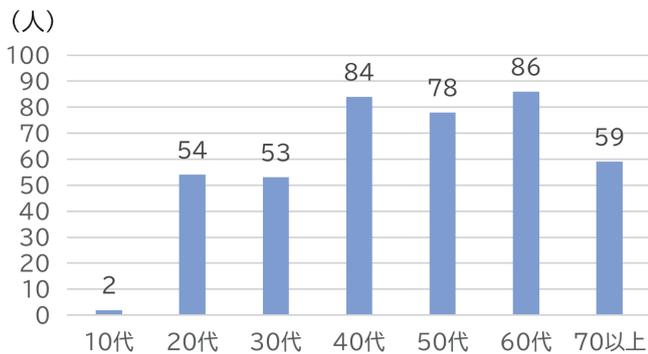
①在学生数 (人)

教養学部	全科履修生	322
	選科履修生	60
	科目履修生	24
	特別聴講学生	1
教養学部 集計		407
大学院文化科学研究科(修士課程)	修士全科生	1
	修士選科生	7
大学院文化科学研究科(修士課程) 集計		8
合計		415

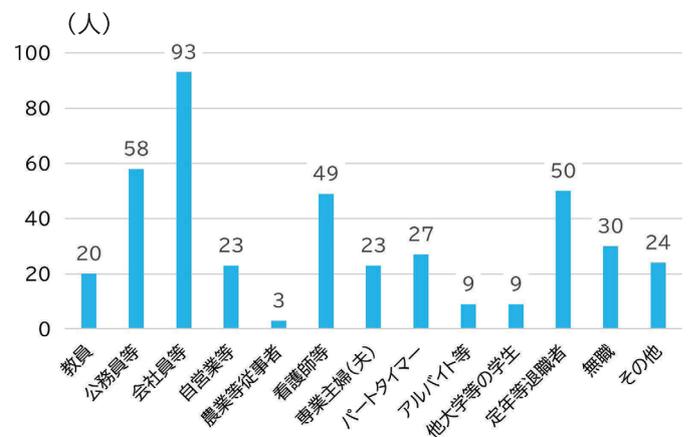
②性別 割合



③年代別 (人)



④職業別 (人)



⑤市町村別



⑥都道府県別 (人)

徳島県内	392
兵庫県	17
その他	6
県外 計	23
合計	415

⑦人気科目ランキング

★教養学部★

順位	授業科目	人数	メディア
1	人体の構造と機能('22)	18	TV
2	食と健康('24)	17	TV
//	多文化共生のコミュニケーション('24)	17	R
3	心理学概論('24)	16	TV
4	心理と教育へのいざない('24)	15	R

★大学院修士★

順位	授業科目	人数	メディア
1	知財制度論('20)	3	R
2	健康・スポーツ科学研究('21)	2	R
//	精神医学特論('22)	2	R
3	数理科学('21)/経済政策('22)/スポーツ・健康医学('19)/自然や環境の諸問題('25)/文化人類学の最前線('21)/公共政策('22)/臨床心理面接特論Ⅰ('25)	1	

「まなびの森」講演会

要申込

□ 徳島学習センターは、徳島県立図書館との共催で、毎月1回土曜に「まなびの森」講演会を開催しています。今年度4月から6月の開催状況は次のとおりです。

2025年4月19日(土)



徳島の巨樹の話—歴史・伝承・保護について—
徳島大学生物資源産業学部
教育教授 佐藤 征弥

2025年5月17日(土)



油屋熊八の世界—油屋将軍と呼ばれていた—
徳島県立総合高等学校とくしま学博士
渡辺 美知子

2025年6月21日(土)



吉野川流域の文化的景観—藍作と竹林・搔寄堤・高石垣家屋—
徳島大学名誉教授 平井 松午

□ 7月から9月までの「まなびの森」講演会の内容は次のとおりです。参加には、電話での事前予約（☎088-602-0151）が必要です。（※定員は各回40名で、申込受付は各講演会開催日の1か月前からです）

開催日時	内容	講師
7月19日(土) 13:00~15:00	サイバーセキュリティの世界 —脅威とその対策—	鳴門教育大学情報基盤センター所長 教授 曾根 直人
8月16日(土) 13:00~15:00	日本刀から学ぶ材料の強さ	徳島大学名誉教授 英 崇夫
9月20日(土) 13:00~15:00	「戦国発の革新児」・ 「華麗なる天下人」三好長慶 —戦国の世に「理世安民」を掲げるって、どんな人物?—	徳島県立総合高等学校 とくしま学博士 阿部 敏男

【参加費】
無料(要申込)

2025年度 公開講演会のご案内

【定員】
50名(受付順)

申込方法等の詳細は
センターWebページ
でご確認ください!
受付は7月10日から

【日時】9月6日(土) 13:00~16:00 (受付12:30~)

【会場】鳴門市川東公民館

鳴門市撫養町立岩内田63-2 ☎088-685-0923

※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【第I部】

「徳島同窓生による放送大学紹介」

【第II部】一般向け講演会

「将軍塚と岡崎城

— 妙見山の近代史 —

講師 佐那河内村学芸監 石尾 和仁 先生
(元徳島県立文書館長)

【第III部】フィールドワーク(自由参加)

「妙見山と岡崎城跡の見学」

講師 佐那河内村学芸監 石尾 和仁 先生
(元徳島県立文書館長)

新任のあいさつ

令和7年4月に着任された客員教授の 佐藤健二先生、豊田哲也先生よりご挨拶を頂きました。

佐藤 健二 客員教授



徳島大学大学院社会産業理工学研究部人間科学系心理学分野に所属している佐藤健二と申します。

私は、心の健康の回復と増進に関して、社会心理学との接点の領域(不安、抑うつ、ストレス、トラウマなど)を主な対象として、主として認知行動療法の観点から研究・実践しています。

不安、抑うつ、ストレスは、誰もが経験しますが、特徴的な症状が長く続き、生活に支障を来すようになると、不安症、うつ病、心的外傷後ストレス症など心身にわたる症状を伴う精神疾患となり、専門的な支援が必要になります。こうした精神疾患の症状と成り立ち、その心理的支援方法について、主には効果が実証されている認知行動療法等の観点から研究しています。

認知行動療法は、行動や情動の問題に加え、認知的な問題をも治療の標的とし、実証的に効果が確認されている行動的・認知的技法(療法)を効果的に組み合わせることで問題の改善を図ろうとする治療アプローチの総称と定義されています。

行動療法は条件付け、認知療法は認知的再体制化が治療の中核的要因として考えられています。認知的再体制化は、認知(思考)は必ずしも現実を反映していないという気づき(メタ認知的自覚)、その認知を適応的なものへ変容することから構成されますが、メタ認知的気

づきと経験に対する受容の態度だけで症状の再発を防ぐことができると考えるのがマインドフルネス認知療法です。

研究テーマの一つは、トラウマの筆記開示が心身の健康や認知機能の増進に及ぼす影響です。一日20分、3~4日間、最もトラウマティックな体験について、心の奥底の感情や思考を筆記することが心身の健康や認知機能を増進させるかについて、アメリカのJ.W.Pennebakerらによって、1980年代半ば以降に研究が行われてきています。心身の健康については、医師訪問回数、免疫や内分泌系の反応、心的外傷後ストレス反応など、認知機能については、ワーキングメモリなどを指標として検討されてきました。私自身は、その効果の中核的要因も認知的再体制化やメタ認知的自覚にあると考えており、それが促進されるよう構造化された筆記開示を開発することも研究課題の一つです。

ゼミでは、参加者の皆さんの関心事を伺い、参加者各自の興味が有るテーマについて、発表して頂き、議論することを考えています。心の健康の回復と増進に関わるテーマに関心があり、発表と議論が可能な方は、是非、ゼミにご参加ください。よろしくお願いいたします。

豊田 哲也 客員教授



本職は徳島大学大学院社会産業理工学研究部に所属している豊田哲也です。とても長い名称ですが、これは教員組織であって、対外的には総合科学部の地域デザインコースで教えているという方がわかりやすいかもしれません。もともと出身地は奈良市で、大学時代は京都市で過ごし、1997年から徳島市にいらしています。年数で数えると徳島での生活が最も長くなりました。

専門分野は人文地理学で、そのなかでは地域経済や地域政策を研究しています。もともと、都市システム論や大都市問題を研究していたのですが、徳島に来てからは人口減少や産業衰退など地方の課題にも取り組むようになりました。学部の学生実習を兼ね、すだちやにんじんの産地を訪ねて持続可能な地域の農業について調査してきました。ライフワークというかメインの研究テーマは地域格差問題であり、東京一極集中のメカニズムや人口移動の要因について分析をおこなっています。最近では東京だけでなく、ニューヨークやロンドンなど世界都市との比較研究もしています。

現在、日本学術会議の連携会員として「縮小社会の地域構想」というグループで活動中です。地域政策への実践応用という面では、国土交通省の国土形成計画、徳島県のEBPM(根拠に基づく政策形成)、県内市町村の総合計画などにも関わっています。地域課題の解決には、

全国一律の制度や法律ではなく、地域の多様性に配慮した処方箋が必要でしょう。地理学的な知見が地方創生や地域活性化に役立つことを願っています。

研究者としての学会活動では、日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会など地理学関係の学会のほか、経済学や社会学など社会科学系の学会、統計学や地理情報システムGISなど情報系の学会に入っています。中四国都市学会では会長もつとめています。よく言われるような細分化、たこつぼ化した研究ではなく、学際的、総合的に俯瞰した研究を目指しています。

私が徳島大学で教えている授業は大きく分けて3つあります。大学院では地域経済や地域政策の分析アプローチ、学部では社会調査や統計データを用いた実証的分析法、教養教育では地球環境問題などグローバルな課題と徳島の自然や歴史などローカルな話題。私たちのくらしに関わる諸問題をさまざまなスケールから考えようとしています。

徳島学習センターでは、受講者のみなさんの関心やニーズも聞きながら、時事的な話題を含めて幅広くテーマを取り上げていきたいと思っています。ともに学ぶことを楽しみにしています。

同好会・同窓会から

徳島学習センターの学生団体は現在同好会1団体と同窓会が活動しています。

同好会
だより

英語翻訳同好会

当同好会では、毎回数点の英文を題材に、各自が和訳に取り組みます。長文を分担して訳すのではなく、同じ原文を全員が個別に訳し、その違いを比較・共有します。訳し方によってニュアンスや表現に違いが生まれるため、言葉の多様性や翻訳の奥深さを実感できるのが大きな魅力です。直訳と意識の狭間での取捨選択や、文脈に応じた言い回しの工夫を通じて、そ

れぞれの視点や感性が自然と浮かび上がるのも楽しみのひとつです。使用ツールに制限はなく、正解・不正解を問うものでもないため、英語に自信のない方も気軽にご参加いただけます。

日時: 月1回、第2水曜日16時から

対象: 放送大学生 (徳島学習センター所属)

必要: スマホ(パソコン可)

【問合せ先】 徳島学習センター事務室まで。

同窓会
だより

防災研修を開催しました

防災研修の一環として「組み立て式非常用トイレを体験してみよう」と題して市販の非常用トイレ2種類を参加者で組み立て、凝固剤を利用した処理袋を使って実際に使用してみました。

トイレは商品によって組み立てやすさに差があり、説明書を見ながらも時間がかかるものもありました。一度組み立てておくことをお勧めします。

処理袋についても多くの種類があり、概ね同様の使用方法です。節約した使い方も出来るのではという意見も出

ました。

今回は学習センターのご協力でキャンパスメールを通じて在学生の皆様にもお知らせさせていただきました。今後も同窓会からお知らせさせていただきたいと思っております。



2025年度パソコン講習会開催のお知らせ

定員各15人
要 申 込

在学生のスキルアップのための パソコン講習会を次のように開催いたします。各回ごとに1ヵ月前から受付します。電話または二次元コードからお申し込みください

8/2(土)
徳島SC

13:30~16:00
徳島学習センター
講義室



- ①システムWAKABAとキャンパスメールの使い方
- ②オンライン授業とライブWeb授業の受け方

10/25(土)
ミライズ(美馬市)

13:30~16:00
美馬市地域交流センター
ミライズ 会議のハコ



- ①システムWAKABAとキャンパスメールの使い方
- ②Webによる通信指導と単位認定試験の受け方

10/18(土)
コスモホール
(阿南市)

13:30~16:00
阿南市情報文化センター
コスモホール
研修室 C



- ①システムWAKABAとキャンパスメールの使い方
- ②Webによる通信指導と単位認定試験の受け方

2/7(土)
徳島SC

13:30~16:00
徳島学習センター
講義室



- ①システムWAKABAとキャンパスメールの使い方
- ②オンライン授業とライブWeb授業の受け方

放送大学 2025年10月入学生募集!



放送大学では、2025年10月入学生を募集しています。在学中の学生の皆様の継続入学、以前に在学していた方の再入学もお持ちしています。また、在学生の皆様からのお声かけは、新たに学んでみたいと思っている方の入学のきっかけになります。職場やご近所の方などお知り合いの方にもお勧めください。

□ 出願期間

第1回: 2025年6月10日(火)~2025年8月29日(金)

第2回: 2025年8月30日(土)~2025年9月11日(木)

出願特設サイトはこちら >



スケジュール

2025年7月～9月

■ は 閉所日
 ■ は 面接授業開講日
 ■ は 単位認定試験期間

7月

2025年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 <small>面接</small>
6 <small>面接</small>	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

14日	(月)	第1学期放送授業終了
16日	(水)	単位認定試験(学部・大学院) 視聴学習・図書室閉室
24日	(木)	
19日	(土)	「まなび」の森講演会
21日	(月)	閉所日(海の日)

★センター開講面接授業

5・6 土・日 持続可能な交通計画(奥嶋 政嗣先生)

昆虫学:基礎から応用へ(畠山 大先生)

8月

2025年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2日	(土)	パソコン講習会(徳島学習センター)
7日	(木)	卒業研究履修申請(新規、～8/14)
11日	(月)	閉所日(山の日)
12日	(火)	臨時閉所日
15日	(金)	
15日	(金)	第2学期科目登録申請受付開始(面接授業含む) 修士全科・博士 出願受付開始(～8/25) 成績認定・卒業・修了認定(学部・修士) システムWAKABA成績通知予定
16日	(土)	「まなび」の森講演会
19日	(火)	通信指導提出期限(司書教諭) 成績通知発送(学部・修士)
25日	(月)	大学院(修士全科・博士)出願締切 (郵送は消印有効)
28日	(木)	第2学期科目登録申請締切(郵送)
29日	(金)	第2学期科目登録申請締切(Web) 第2学期第1回出願締切
30日	(土)	第2学期第2回出願受付開始

2025年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

9月

6日	(土)	公開講演会(鳴門市)
11日	(木)	第2学期第2回出願締切
15日	(月)	閉所日(敬老の日)
20日	(土)	「まなび」の森講演会
23日	(火)	閉所日(秋分の日)
28日	(日)	第1学期卒業証書・学位記授与式(10:30～) 第2学期入学者の集い(14:30～)

★センターの臨時閉所、センターの行事の急なお知らせは表紙の右上に掲載している二次元コードから学習センターHPにアクセスしてください。

★ゼミの開講についてはセンタースケジュールを確認してください。

センタースケジュール

システムWAKABA

